

# 愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成 28年度



# 基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

## 基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

## 患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

### 患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報が保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

# 目 次

目 的 .....	2
経 過 .....	2
設置の根拠 .....	3
施設の概要 .....	3
所在地 土地・建物 中央病院 研究所	
組織と職員定数 .....	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務 .....	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備 .....	18
備品 附属設備	
病院業務 .....	19
診療科目等 外来診療経路 患者状況 患者給食実施状況等	
研究業務 .....	27
研究所における部別研究課題 病院における課題別研究課題 共同研究課題等	
類似病院との比較 .....	30
外来診療案内・入院案内 .....	31



# 目 的

がんは、昭和56年に死亡原因の1位となり、その後も年々増加している。わが国におけるがんの対策は、諸外国と同様に、生活習慣病対策のなかで最も重要な国民的課題である。

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

# 経 過

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成26年 9月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0）
平成27年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

# 設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置  
現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

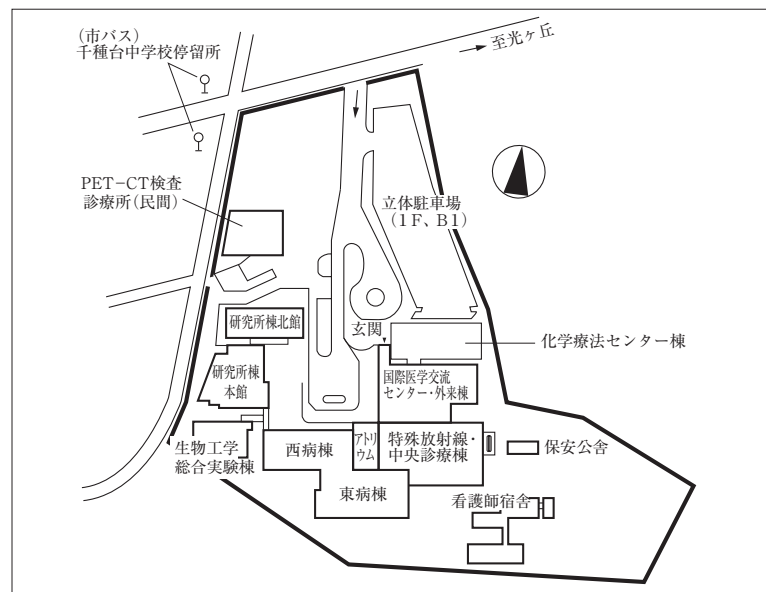
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者・研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

# 施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成28年4月1日現在)



# 土地・建物

(平成28年4月1日現在)

区	分	構造・規模	延床面積
土	地		49,788.56 m <sup>2</sup>
建 物	合 計		72,941.06 m <sup>2</sup>
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m <sup>2</sup>
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m <sup>2</sup>
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m <sup>2</sup>
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m <sup>2</sup>
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m <sup>2</sup>
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m <sup>2</sup>
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m <sup>2</sup>
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m <sup>2</sup>
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m <sup>2</sup>
立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m <sup>2</sup>	
その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m <sup>2</sup>	

# 中央病院

(平成28年4月1日現在)

## (東) 病棟 (西)

		内 容	病床数	階別	内 容	病床数	
		機械室		搭屋	機械室		
		特別病棟 (混合)	25床	9階	特別病棟 (混合)	25床	
		特別病棟 (混合)	30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸部外科、治験、緩和ケア(緊急))	50床	
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床	
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・IVR科)	49床	
	空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床)	一般病棟 (頭頸部外科) (46床)	50床	5階	一般病棟 (婦人科、乳腺科、形成外科)	50床
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科)	50床	
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)		3階	管理部門(総長室、病院長室等)		
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門(医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門(運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計500床)

## 国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門(薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門(供給室等)、カルテ、フィルム庫

## 化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門(ミキシング室等)

## 都道府県がん診療連携拠点病院

第3次対がん10か年総合戦略においては、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるがん医療の均てん化が戦略目標に掲げられている。

この目標達成のために国によって整備が進められることになったがん診療連携拠点病院について、当院は、平成19年1月31日付で県内1か所の指定である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、県内の「地域がん診療連携拠点病院」及び愛知県が指定する「愛知県がん診療連携拠点病院」を束ね、愛知県の中心的ながん診療機能を担っている。具体的には、拠点病院の医療従事者に対する研修の実施、クリティカルパス（治療計画）の整備、診療実績等の共有、PDCAサイクルの確保など、地域の医療連携体制の構築を通じて支援している。

その他、院内に地域医療連携・相談支援センターを設け、患者・家族からの相談支援、医療情報の提供、社会保険労務士による就労相談を行っている。

また、平成26年4月からは緩和ケアセンターを開設し、緩和ケアチーム等と連携し、専門的な緩和ケアの提供を行っている。

## 外来化学療法センター

平成25年7月1日、待望の新外来化学療法センター棟が開設した。ベッド38床（うち個室3床）、チェア22台の計60床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。中庭を配置し、自然光が入る明るいフロアー、木の温もりあふれる空間を提供している。多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、看護師や薬剤師による副作用対応のための電話相談等も行い、きめ細やかな医療を提供している。

新しいセンターに移行し、外来化学療法センターの平成26/27年度利用患者総数は約21,000/21,250件で、1日あたりの利用者数は90/91人であった。名実ともに日本のがん治療を担う leading hospital の新たな顔として機能している。



## 先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設置し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、①「パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん（腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。）」②「パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん」、③「術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」、④「ペマトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法

肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）」、⑤「術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん（長径が5cm以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）」、⑥「S-1内服投与、

オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹腔播種を伴う初発の胃がん」、⑦「術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん（洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。）」⑧「インターフェロン $\alpha$ 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。）」の医療技術について提供している。

## 治験支援室・臨床試験室

当院は、がん専門病院としては全国トップクラスの治験の実績を持っている。臨床試験部治験支援室では、製薬企業からの依頼を受けて新薬開発のための治験や製造販売後臨床試験、また医師が中心となって行う医師主導治験の支援を行っている。また、同部臨床試験室では、治験以外のさまざまな臨床試験の支援を行っている。

## トモセラピー (Tomotherapy)

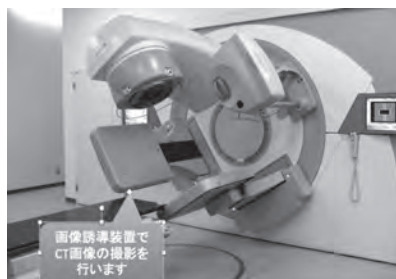
平成18年6月から稼働の放射線治療装置 Tomotherapy は強度変調放射線治療 (IMRT) 専用機として開発された。

IMRTとは小さな鉛ブロックの開閉で照射野内の線量に強弱をつけ、かつ全周方向から照射・合成することで高精度な放射線分布を作る方法である。本装置は小型の放射線発生装置（ライナック）を内蔵し、ヘリカルCT方式で治療ベッドを移動しながらスライス状ビームで治療する。



## シナジー (Synergy)

平成24年7月に稼働したIMRTや定位治療などの高精度放射線治療に加え、従来の一般的な放射線治療も行える装置。治療直前にCT画像を撮影して正確に位置合わせを行い治療することができる。IMRTの需要が年々増加する中で、トモセラピーのみでは年間150人の治療が限度であったが、本装置の稼働によって年間のIMRTの治療人数をおよそ三割増加させることができた。



## ネットワーク接続施設

国立がんセンター中央病院を核として、国立8病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計23施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさきがけてネットワークの一員となっている。



# 研究所

(平成28年4月1日現在)

## 研究所棟本館

	フロア	南	北		
生物工学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	研究所棟北館	
	5階	腫瘍医化学部	疫学・予防部/中央実験室		
	4階	腫瘍免疫学部	感染腫瘍学部		空調機械スペース
	3階	腫瘍病理学部	分子病態学部		研究所長室 セミナー室等、 疫学・予防部、がん登録室
	2階	遺伝子医療研究部	分子腫瘍学部		図書室 共同機器室 看護学生 控え室等
	1階	共同機器室/管理室	臨床研究室	運用部電算機室 保育所 他	
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	電気室 その他	

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階(一部6階)、総床面積7,113㎡である。通常動物舎および発牛工学動物飼育実験室が設置され、病原菌感染のない環境下で免疫能の低い特殊なマウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子改変動物の飼育と遺伝子機能解明のための実験が行われている。1階には管理室や共同機器室が置かれ、2階から5階には8部門の実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、疫学・予防部のほか図書室、セミナー室、電算機室、看護学生控え室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。本年度からは、最新の使用目的に合うよう改修が計画されている。





## レーザーマイクロダイセクション

レーザーマイクロダイセクションは、スライドガラス上の組織切片を顕微鏡下で観察しながら、混在する複数の細胞集団のなかから目的とする細胞塊をレーザーによって切り出し、採取、回収することのできる装置である。回収したサンプルは、分子生物学的な手法等を用いた解析に用いる。



レーザーマイクロダイセクション

## 凍結切片作成装置

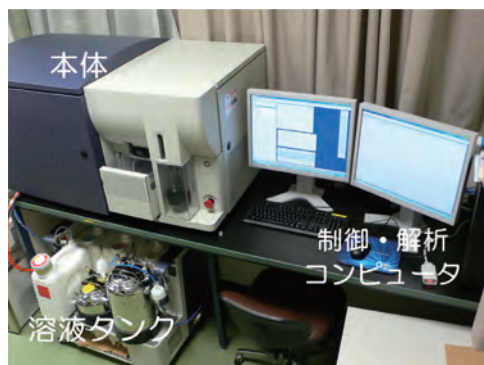
凍結切片作製装置は、凍結処理した生体試料を、ごく薄く切断する専用装置である。薄く切断された生体試料(切片)は、スライドガラス上に載せられ、さまざまな試薬や抗体を用いて、解析をすることができる。



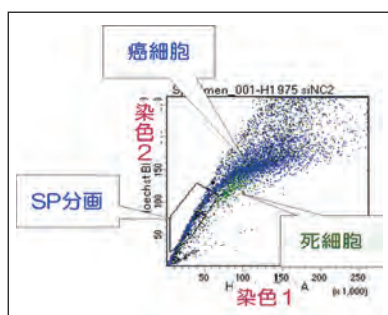
凍結切片作成装置

## 細胞分取装置(セルソータ)

複数の種類の細胞の集まりから、その性質に従って分離し、特定の細胞を生きたまま、無菌的に回収することができる装置である。



細胞分取装置



データ提供：長田啓隆博士(分子腫瘍学部)

## 蛍光実体顕微鏡

動物実験において、蛍光標識した腫瘍細胞等を、実験動物ごとあるいは臓器ごと観察、定量する機器。腫瘍の臓器分布、臓器内分布を実体顕微鏡下で観察出来る。転移・浸潤の研究に必須の機器である。



蛍光実体顕微鏡

# 組織と職員定数

組 織 (平成28年4月1日現在)



# 役職者一覧表

(平成28年4月1日現在)

役職名			氏名	備考	役職名			氏名	備考		
総 運 用 部 中 央 病 院 研 究 所	院長		木下平	事務取扱	中 央 病 院 研 究 所	麻酔科部長		仲田純也			
	運用部	運用部長	後藤輝夫			集中治療部長	波多野 潔	循環器科部長(兼)			
		経営戦略室長	荒木政彦			放射線診断・IVR部長	稲葉 吉隆				
		管理課長	水野 孝			放射線治療部長	古平 毅				
	中	院 長		丹羽康正			外 来 部 長	堀尾芳嗣			
		副 院 長				長谷川泰久		手 術 部 長	伊藤誠二		
						岩田広治		循 環 器 科 部 長	波多野 潔		
						木下朝博		緩 和 ケ ア 部 長	小森康永		
						亀島里美		看 護 部 長	亀島里美	副院長(兼)	
		消化器内科部長		原 和 生			薬 剤 部 長	水野靖也			
		内視鏡部長		田近正洋			栄養管理部長	田近正洋	内視鏡部長(兼)		
		呼吸器内科部長		樋田豊明			医療安全管理部長	木下朝博	副院長(兼)		
		央	血液・細胞療法部長			木下朝博	副院長(兼)	臨床試験部長	山本一仁		
			薬物療法部長			室 圭		医療情報管理部長	岩田広治	副院長(兼)	
	臨床検査部長		谷田部 恭	遺伝子病理診断部長(兼)		外来化学療法センター長	室 圭	薬物療法部長(兼)			
	遺伝子病理診断部長		谷田部 恭			地域医療連携・相談支援センター長	堀尾芳嗣	外来部長(兼)			
	病		輸血部長			木下朝博	副院長(兼)	緩和ケアセンター長	小森康永	緩和ケア部長(兼)	
			頭頸部外科部長			長谷川泰久	副院長(兼)	研 究 所 長	木下平	事務取扱	
			形成外科部長			兵藤伊久夫		副 所 長	関戸好孝		
			呼吸器外科部長			坂尾幸則		疫学・予防部長	田中英夫		
			院	乳腺科部長		岩田広治	副院長(兼)	腫瘍病理学部長	欠		
				消化器外科部長		清水泰博		分子腫瘍学部長	関戸好孝	副所長(兼)	
		整形外科部長		筑紫 聡			遺伝子医療研究部長	松尾恵太郎			
		リハビリテーション部長		吉田雅博			腫瘍免疫学部長	葛島清隆			
	泌尿器科部長			曾我倫久人			感染腫瘍学部長	小根山千歳			
	婦人科部長			水野美香			分子病態学部長	青木正博			
	脳神経外科部長			服部和良			腫瘍医化学部長	稲垣昌樹			

# 職種別・職員定員一覧表

(平成28年4月1日現在)

職種別	部門別	総 数	運 用 部	病 院	研 究 所
総	数	715	28	634	53
事	務	30	27	3	
医 療 社 会 事 業 員		1		1	
医 師		129	1	99	29
歯 科 医 師		2		1	1
理 学 士 ・ 研 究 員		12			12
診 療 放 射 線 技 師		26		26	
理 学 療 法 士		4		4	
言 語 聴 覚 士		1		1	
薬 剤 師		26		26	
臨 床 検 査 技 師		30		29	1
臨 床 工 学 技 士		3		3	
看 護 師		406		406	
看 護 助 手		3		3	
栄 養 士		3		3	
歯 科 衛 生 士		1		1	
そ の 他 給 食 関 係 職 員		15		15	
臨 床 試 験 コーディネーター		13		13	
研 究 補 助		10			10



# 管理業務

## 会計予算

(収益的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		27年度当初予算	28年度当初予算
( 事業収益 )		19,272,025	23,574,351
医 業 収 益		16,727,001	20,769,240
	入 院 収 益	8,754,503	11,371,092
	外 来 収 益	※ 5,714,531	7,202,646
	一般会計負担金	1,108,036	1,077,384
	その他医業収益	1,149,931	1,118,118
医 業 外 収 益		2,545,024	2,805,111
	受取利息配当金	123	105
	一般会計負担金	1,363,138	1,607,136
	一般会計補助金	3,380	26,391
	国庫補助金	15,071	9,057
	長期前受金戻入	548,187	73,105
	資本費繰入収益	0	476,330
	その他医業外収益	615,125	612,987
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
( 事業費 )		18,770,901	22,391,814
医 業 費 用		18,622,752	22,211,626
	給 与 費	8,322,168	8,219,177
	材 料 費	※ 5,888,901	9,937,725
	経 費	2,375,792	2,073,820
	減価償却費	1,349,547	1,306,062
	資産減耗費	59,827	41,940
	研究研修費	626,517	632,902
医 業 外 費 用		143,149	175,188
	支払利息・企債諸費	90,752	92,315
	長期前払消費税償却	27,689	32,776
	雑 損 失	2,001	2,001
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	22,707	48,096
特 別 損 失		0	0
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		501,124	1,182,537

※ 平成27年度は、別に2月補正予算として外来収益510,185千円、材料費499,973千円を計上  
(がん免疫療法薬「オプジーボ」の保険適用拡大に伴う増額補正)

## (資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		27年度当初予算	28年度当初予算
(資本的収入)		1,401,175	2,154,791
企 業 債	企 業 債	903,000	1,481,000
国 庫 支 出 金	国 庫 補 助 金	0	0
他 会 計 出 資 金	一 般 会 計 出 資 金	0	0
他 会 計 負 担 金	一 般 会 計 負 担 金	448,175	653,791
雑 収 入	雑 収 入	20,000	20,000
(資本的支出)		2,191,292	2,865,425
建 設 改 良 費		43,748	565,333
	建 設 費	0	420,181
	改 良 費	43,748	145,152
資 産 購 入 費		1,275,923	1,297,999
	医 療 器 械 購 入 費	941,375	980,896
	備 品 購 入 費	100	100
	リ ー ス 債 務 費	334,448	317,003
企 業 債 償 還 金	企 業 債 償 還 金	871,621	1,002,093
収 支		△ 790,117	△ 710,634

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

## 経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
事業収益	16,338,919	16,666,489	16,318,503	17,165,299	18,299,986	
内 訳	入 院 収 益	7,700,007	8,163,112	7,946,933	7,782,370	8,144,735
	外 来 収 益	4,427,626	4,656,661	4,947,789	5,271,329	5,944,954
	一般会計負担金	2,761,264	2,533,100	2,453,926	2,303,929	2,385,351
	そ の 他	1,450,022	1,313,616	969,855	1,807,671	1,824,946
特別利益	90,968	0	0	0	0	
事業費用	15,420,224	15,884,759	15,978,366	17,035,164	17,706,041	
内 訳	給 与 費	7,434,894	7,546,630	7,071,530	7,232,431	7,488,279
	そ の 他	7,985,330	8,338,129	8,906,836	9,802,733	10,217,762
特別損失	0	0	0	3,345,799	0	
経 常 損 益	918,695	781,730	340,137	130,136	593,945	
純 損 益	1,009,663	781,730	340,137	△3,215,663	593,945	

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

(注3) 平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

# がん患者状況(院内登録)

## 年次別・部位別がん患者数(男女計) 1964 — 2014

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道 が ん (C15)	胃が ん (C16)	結腸 が ん (C18)	直腸 が ん (C19~C21)	肝臓 が ん (C22)	頭頸部 の が ん (C00~C14 C30~C32)	肺が ん (C33,C34)	乳房が ん (C50)	子宮 が ん (C53~C55 C58)	泌尿器 の が ん (C60~C68)	甲状腺 が ん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84 C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その 他 の が ん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	4	19	119
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	6	17	119
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	4	12	119
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	9	20	109
昭和44年(1969)	1,571	42	488	20	68	21	131	120	203	286	19	22	9	10	132
昭和45年(1970)	1,567	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	7	23	129
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	10	12	150
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	6	17	138
昭和48年(1973)	1,497	41	390	32	73	28	116	132	191	284	12	26	14	13	145
昭和49年(1974)	1,364	54	348	36	61	9	113	121	224	222	14	25	6	9	122
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	5	19	143
昭和51年(1976)	1,326	39	352	32	92	25	66	119	202	236	12	18	11	2	120
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	7	15	135
昭和53年(1978)	1,391	53	345	42	74	15	69	133	231	212	15	24	8	9	161
昭和54年(1979)	1,358	36	336	53	49	28	82	132	241	197	12	21	34	9	128
昭和55年(1980)	1,377	45	334	55	71	23	68	136	289	164	15	26	31	15	105
昭和56年(1981)	1,363	43	326	48	73	32	48	143	302	162	16	22	29	11	108
昭和57年(1982)	1,332	34	295	49	69	26	68	151	316	170	9	14	27	13	91
昭和58年(1983)	1,405	49	297	76	85	25	72	154	300	161	12	19	34	13	108
昭和59年(1984)	1,362	41	306	72	67	27	63	139	331	134	6	15	29	16	116
昭和60年(1985)	1,482	35	297	77	77	37	86	157	364	140	12	19	50	3	128
昭和61年(1986)	1,396	37	311	54	74	43	67	134	326	149	8	22	52	6	113
昭和62年(1987)	1,384	34	268	68	74	34	74	156	337	139	14	20	38	10	118
昭和63年(1988)	1,421	39	275	105	57	28	81	167	348	147	6	18	40	11	99
平成元年(1989)	1,261	32	272	64	54	32	86	151	269	141	7	28	32	10	83
平成2年(1990)	1,280	39	246	82	72	45	96	125	243	151	8	30	39	7	97
平成3年(1991)	1,262	39	217	99	68	39	64	134	276	168	6	22	34	9	87
平成4年(1992)	1,344	46	224	84	64	32	94	169	275	175	8	38	30	6	99
平成5年(1993)	1,464	48	261	125	74	62	88	184	300	143	10	26	39	8	96
平成6年(1994)	1,469	62	264	100	84	42	94	180	298	152	24	23	45	3	98
平成7年(1995)	1,463	46	249	111	74	49	113	178	287	106	57	24	36	1	132
平成8年(1996)	1,462	51	202	96	66	49	124	200	290	106	74	29	32	7	136
平成9年(1997)	1,598	43	235	110	67	60	144	219	307	129	61	23	24	9	167
平成10年(1998)	1,684	56	250	120	68	67	134	246	296	144	68	30	31	11	163
平成11年(1999)	1,810	66	245	101	84	64	141	277	364	116	73	30	29	11	209
平成12年(2000)	1,812	65	252	113	63	55	168	275	309	136	74	27	38	13	224
平成13年(2001)	1,922	114	242	122	94	58	158	291	326	153	71	44	38	10	201
平成14年(2002)	2,049	106	257	134	110	61	198	314	314	141	88	44	40	10	232
平成15年(2003)	2,085	113	242	150	110	54	201	305	293	144	116	43	46	7	261
平成16年(2004)	2,162	130	270	131	108	61	203	297	295	174	115	52	41	7	278
平成17年(2005)	2,223	139	286	147	147	73	206	317	296	143	102	36	42	5	284
平成18年(2006)	2,192	146	304	144	155	55	193	307	285	117	156	43	53	5	229
平成19年(2007)	2,359	152	295	154	152	61	178	332	329	152	138	50	57	5	304
平成20年(2008)	2,451	138	343	158	151	35	155	294	406	186	154	52	27	11	341
平成21年(2009)	2,832	155	307	161	157	77	252	383	425	259	221	52	34	15	334
平成22年(2010)	2,975	178	342	187	162	94	224	410	450	239	224	50	33	12	370
平成23年(2011)	2,417	140	247	138	123	49	214	330	441	187	208	51	30	11	248
平成24年(2012)	2,944	207	345	169	176	62	263	343	497	217	185	48	26	8	398
平成25年(2013)	2,971	184	324	179	154	65	293	379	523	208	180	57	29	13	383
平成26年(2014)	2,835	197	266	167	154	69	258	434	494	198	161	52	10	5	370
合 計	87,051	3,700	16,005	4,469	4,435	2,076	6,662	10,247	14,931	9,399	2,937	1,498	1,385	523	8,784

※平成8年までは、ICD9による集計



年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964 — 2014

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.7	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.2	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	0.3	1.3	8.3
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	0.4	1.1	7.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	0.3	0.8	7.8
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.6	8.4	7.7	12.9	19.6	1.6	1.4	0.6	1.3	7.3
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.4	7.6	12.9	18.2	1.2	1.4	0.6	0.6	8.4
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	0.4	1.5	8.2
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	0.6	0.7	9.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.7	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	17.9	1.2	1.2	0.4	1.0	8.3
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.7	8.8	12.8	19.0	0.8	1.7	0.9	0.9	9.7
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.5	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.4	16.3	1.0	1.8	0.4	0.7	8.9
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	0.4	1.3	10.0
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	9.0	15.2	17.8	0.9	1.4	0.8	0.2	9.0
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	0.5	1.2	10.5
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.0	5.3	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	0.6	0.6	11.6
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.7	3.9	3.6	2.1	6.0	9.7	17.8	14.5	0.9	1.5	2.5	0.7	9.4
昭和55年(1980)	100.0	3.3	24.3	4.0	5.1	1.7	4.9	9.9	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.1	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.2	23.9	3.5	5.4	2.3	3.5	10.5	22.2	11.9	1.2	1.6	2.1	0.8	7.9
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.1	3.7	5.2	2.0	5.1	11.3	23.7	12.8	0.7	1.0	2.0	1.0	6.8
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.1	5.4	6.0	1.8	5.1	11.0	21.4	11.5	0.9	1.3	2.4	0.9	7.7
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.5	5.3	4.9	2.0	4.6	10.2	24.3	9.8	0.5	1.1	2.1	1.2	8.5
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.2	2.5	5.8	10.6	24.6	9.4	0.8	1.3	3.4	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.6	22.3	3.9	5.3	3.1	4.8	9.6	23.3	10.7	0.6	1.6	3.7	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.5	19.4	4.9	5.4	2.5	5.4	11.3	24.3	10.0	1.0	1.4	2.7	0.7	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.4	4.0	2.0	5.7	11.7	24.5	10.3	0.4	1.3	2.8	0.8	7.0
平成元年(1989)	100.0	2.5	21.6	5.1	4.3	2.5	6.8	12.0	21.3	11.2	0.6	2.2	2.5	0.8	6.6
平成2年(1990)	100.0	3.1	19.2	6.4	5.6	3.5	7.5	9.8	19.0	11.8	0.6	2.3	3.1	0.5	7.6
平成3年(1991)	100.0	3.1	17.2	7.8	5.4	3.1	5.1	10.6	21.9	13.3	0.5	1.7	2.7	0.7	6.9
平成4年(1992)	100.0	3.4	16.7	6.2	4.8	2.4	7.0	12.6	20.5	13.0	0.6	2.8	2.2	0.4	7.4
平成5年(1993)	100.0	3.3	17.8	8.5	5.0	4.2	6.0	12.6	20.5	9.8	0.7	1.8	2.7	0.5	6.6
平成6年(1994)	100.0	4.2	18.0	6.8	5.7	2.9	6.4	12.2	20.3	10.3	1.6	1.6	3.1	0.2	6.7
平成7年(1995)	100.0	3.1	17.0	7.6	5.1	3.4	7.7	12.2	19.6	7.2	3.9	1.6	2.5	0.1	9.0
平成8年(1996)	100.0	3.5	13.8	6.6	4.5	3.3	8.5	13.7	19.8	7.2	5.1	2.0	2.2	0.5	9.3
平成9年(1997)	100.0	2.7	14.7	6.9	4.2	3.7	9.0	13.7	19.2	8.1	3.8	1.4	1.5	0.6	10.5
平成10年(1998)	100.0	3.3	14.8	7.1	4.0	4.0	8.0	14.6	17.6	8.6	4.0	1.8	1.8	0.7	9.7
平成11年(1999)	100.0	3.7	13.5	5.6	4.6	3.5	7.8	15.3	20.1	6.4	4.0	1.7	1.6	0.6	11.6
平成12年(2000)	100.0	3.6	13.9	6.2	3.5	3.0	9.3	15.2	17.0	7.5	4.1	1.5	2.1	0.7	12.4
平成13年(2001)	100.0	5.9	12.6	6.3	4.9	3.0	8.2	15.1	17.0	8.0	3.7	2.3	2.0	0.5	10.5
平成14年(2002)	100.0	5.2	12.6	6.5	5.4	3.0	9.7	15.3	15.3	6.9	4.3	2.1	2.0	0.5	11.3
平成15年(2003)	100.0	5.4	11.5	7.2	5.3	2.6	9.6	14.6	14.1	6.9	5.6	2.1	2.2	0.3	12.5
平成16年(2004)	100.0	6.0	12.5	6.1	5.0	2.8	9.4	13.7	13.6	8.1	5.3	2.4	1.9	0.3	12.9
平成17年(2005)	100.0	6.3	12.9	6.6	6.6	3.3	9.3	14.3	13.3	6.4	4.6	1.6	1.9	0.2	12.8
平成18年(2006)	100.0	6.7	13.9	6.6	7.1	2.5	8.8	14.0	13.0	5.3	7.1	2.0	2.4	0.2	10.4
平成19年(2007)	100.0	6.4	12.5	6.5	6.4	2.6	7.5	14.1	13.9	6.4	5.8	2.1	2.4	0.2	12.9
平成20年(2008)	100.0	5.6	14.0	6.4	6.2	1.4	6.3	12.0	16.6	7.6	6.3	2.1	1.1	0.4	14.0
平成21年(2009)	100.0	5.5	10.8	5.7	5.5	2.7	8.9	13.5	15.0	9.2	7.8	1.9	1.2	0.5	11.8
平成22年(2010)	100.0	6.0	11.5	6.3	5.5	3.2	7.5	13.8	15.1	8.0	7.5	1.7	1.1	0.4	12.4
平成23年(2011)	100.0	5.8	10.2	5.7	5.1	2.0	8.9	13.7	18.2	7.7	8.6	2.1	1.2	0.5	10.3
平成24年(2012)	100.0	7.0	11.7	5.7	6.0	2.1	8.9	11.7	16.9	7.4	6.3	1.6	0.9	0.3	13.5
平成25年(2013)	100.0	6.2	10.9	6.0	5.2	2.2	9.9	12.7	17.6	7.0	6.1	1.9	1.0	0.4	12.9
平成26年(2014)	100.0	6.9	9.4	5.9	5.4	2.4	9.1	15.3	17.4	7.0	5.7	1.8	0.4	0.2	13.1
合計	100.0	4.2	18.4	5.1	5.1	2.4	7.7	11.8	17.1	10.8	3.4	1.7	1.6	0.6	10.1

※平成8年までは、ICD9による集計

登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964 - 2013

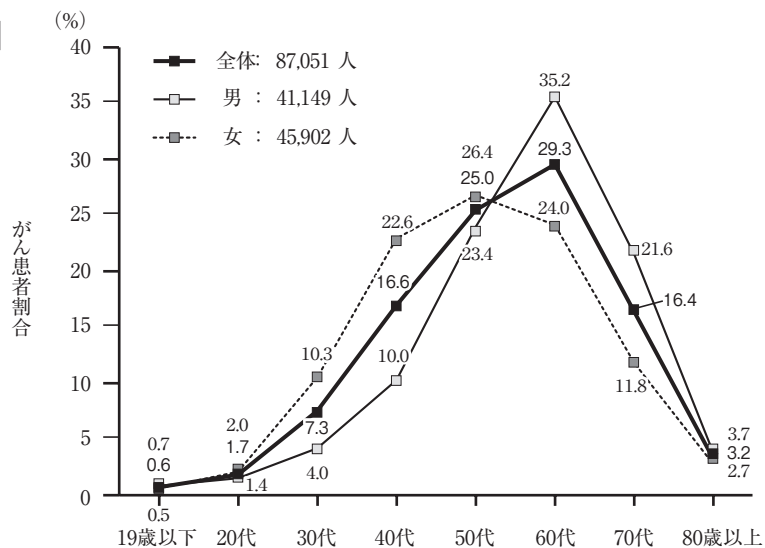
登録(診断)年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	801	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	965	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	915	708	619	576	551	443
昭和43年(1968)	1,485	940	746	662	617	582	472
昭和44年(1969)	1,571	981	788	697	630	593	502
昭和45年(1970)	1,567	1,019	803	724	671	629	536
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	535
昭和47年(1972)	1,659	1,104	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,497	1,010	844	748	707	667	561
昭和49年(1974)	1,364	948	769	684	638	597	497
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,326	924	755	673	636	602	503
昭和52年(1977)	1,286	908	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,391	979	811	742	689	654	550
昭和54年(1979)	1,358	985	822	749	701	669	574
昭和55年(1980)	1,377	1,005	843	775	720	684	582
昭和56年(1981)	1,363	1,016	856	775	737	692	582
昭和57年(1982)	1,332	986	845	763	726	698	564
昭和58年(1983)	1,405	1,048	882	798	734	700	593
昭和59年(1984)	1,362	1,035	873	792	741	709	602
昭和60年(1985)	1,482	1,177	1,007	905	841	810	696
昭和61年(1986)	1,396	1,094	946	857	808	771	648
昭和62年(1987)	1,384	1,100	948	862	787	749	631
昭和63年(1988)	1,421	1,140	991	904	856	829	712
平成元年(1989)	1,261	985	861	800	766	739	624
平成2年(1990)	1,280	1,041	898	839	796	761	661
平成3年(1991)	1,262	1,049	917	846	799	760	661
平成4年(1992)	1,344	1,099	955	887	849	815	698
平成5年(1993)	1,464	1,193	1,037	941	894	858	726
平成6年(1994)	1,469	1,206	1,075	993	930	894	767
平成7年(1995)	1,463	1,190	1,032	935	878	850	718
平成8年(1996)	1,462	1,201	1,054	947	907	859	729
平成9年(1997)	1,598	1,336	1,146	1,041	980	940	750
平成10年(1998)	1,684	1,367	1,198	1,096	1,031	980	768
平成11年(1999)	1,810	1,470	1,271	1,163	1,099	1,056	976
平成12年(2000)	1,812	1,492	1,294	1,195	1,118	1,054	969
平成13年(2001)	1,922	1,557	1,372	1,259	1,176	1,114	997
平成14年(2002)	2,049	1,682	1,447	1,299	1,222	1,181	1,027
平成15年(2003)	2,085	1,719	1,485	1,375	1,310	1,278	1,125
平成16年(2004)	2,162	1,830	1,570	1,440	1,434	1,357	1,220
平成17年(2005)	2,223	1,849	1,719	1,619	1,613	1,507	1,374
平成18年(2006)	2,192	2,070	2,024	1,839	1,722	1,617	
平成19年(2007)	2,359	2,027	1,941	1,836	1,690	1,637	
平成20年(2008)	2,451	2,114	1,900	1,769	1,678	1,634	
平成21年(2009)	2,832	2,397	2,130	1,986	1,923	1,916	
平成22年(2010)	2,975	2,561	2,284	2,161	2,134	2,001	
平成23年(2011)	2,417	2,321	2,193	2,171	1,847		
平成24年(2012)	2,978	2,667	2,612	2,377			
平成25年(2013)	3,004	2,667	2,625				

登録(診断)年次別がん患者の実測生存率(%) (男女計) 1964 - 2013

登録(診断)年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年(1965)	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年(1966)	60.1	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年(1967)	60.0	46.4	40.6	37.8	36.1	29.0
昭和43年(1968)	63.3	50.2	44.6	41.5	39.2	31.8
昭和44年(1969)	62.4	50.2	44.4	40.1	37.7	32.0
昭和45年(1970)	65.0	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年(1971)	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.6
昭和47年(1972)	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年(1973)	67.5	56.4	50.0	47.2	44.6	37.5
昭和49年(1974)	69.5	56.4	50.1	46.8	43.8	36.4
昭和50年(1975)	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年(1976)	69.7	56.9	50.8	48.0	45.4	37.9
昭和52年(1977)	70.6	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年(1978)	70.4	58.3	53.3	49.5	47.0	39.5
昭和54年(1979)	72.5	60.5	55.2	51.6	49.3	42.3
昭和55年(1980)	73.0	61.2	56.3	52.3	49.7	42.3
昭和56年(1981)	74.5	62.8	56.9	54.1	50.8	42.7
昭和57年(1982)	74.0	63.4	57.3	54.5	52.4	42.3
昭和58年(1983)	74.6	62.8	56.8	52.2	49.8	42.2
昭和59年(1984)	76.0	64.1	58.1	54.4	52.1	44.2
昭和60年(1985)	79.4	67.9	61.1	56.7	54.7	47.0
昭和61年(1986)	78.4	67.8	61.4	57.9	55.2	46.4
昭和62年(1987)	79.5	68.5	62.3	56.9	54.1	45.6
昭和63年(1988)	80.2	69.7	63.6	60.2	58.3	50.1
平成元年(1989)	78.1	68.3	63.4	60.7	58.6	49.5
平成2年(1990)	81.3	70.2	65.5	62.2	59.5	51.6
平成3年(1991)	83.1	72.7	67.0	63.3	60.2	52.4
平成4年(1992)	81.8	71.1	66.0	63.2	60.6	51.9
平成5年(1993)	81.5	70.8	64.3	61.1	58.6	49.6
平成6年(1994)	82.1	73.2	67.6	63.3	60.9	52.2
平成7年(1995)	81.3	70.5	63.9	60.0	58.1	49.1
平成8年(1996)	82.1	72.1	64.8	62.0	58.8	49.9
平成9年(1997)	83.6	71.7	65.1	61.3	58.8	46.9
平成10年(1998)	81.2	71.1	65.1	61.2	58.2	45.6
平成11年(1999)	81.2	70.2	64.3	60.7	58.3	53.9
平成12年(2000)	82.3	71.4	65.9	61.7	58.2	53.5
平成13年(2001)	81.0	71.4	65.5	61.2	58.0	51.9
平成14年(2002)	82.1	70.6	63.4	59.6	57.6	50.1
平成15年(2003)	82.4	71.2	65.9	62.8	61.3	54.0
平成16年(2004)	84.6	72.6	66.6	66.3	62.8	51.8
平成17年(2005)	83.2	77.3	72.8	72.6	67.8	52.9
平成18年(2006)	94.4	92.3	83.9	78.6	73.8	
平成19年(2007)	85.9	82.3	77.8	71.6	69.4	
平成20年(2008)	86.3	77.5	72.2	68.5	66.7	
平成21年(2009)	84.6	75.2	70.1	67.9	67.4	
平成22年(2010)	86.0	76.8	72.6	71.6	66.9	
平成23年(2011)	96.0	90.7	86.1	76.4		
平成24年(2012)	89.6	87.7	79.0			
平成25年(2013)	88.8	87.4				

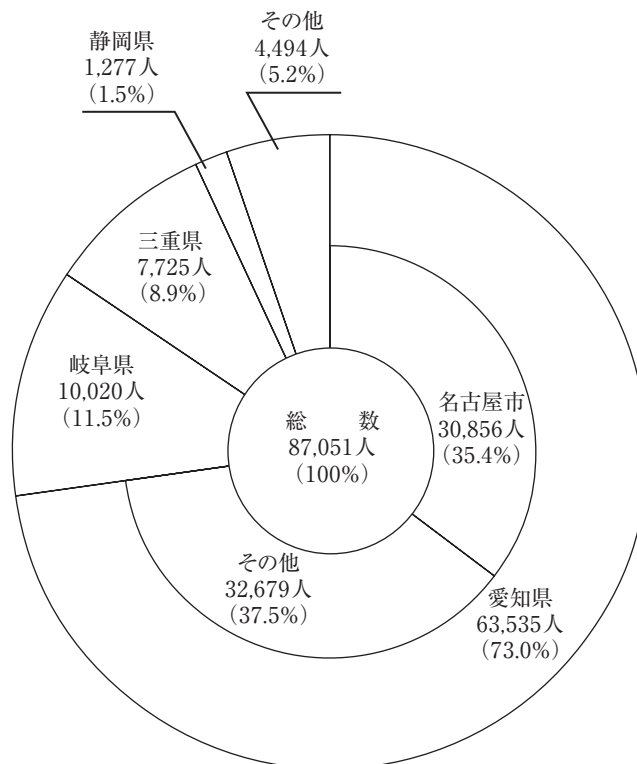


### がん患者 年齢構成図 (昭和39年12月～平成26年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	287	567	1,643	4,114	9,624	14,492	8,892	1,530	41,149
	%	0.7%	1.4%	4.0%	10.0%	23.4%	35.2%	21.6%	3.7%	100.0%
女	患者数	216	898	4,716	10,352	12,099	10,995	5,399	1,227	45,902
	%	0.5%	2.0%	10.3%	22.6%	26.4%	24.0%	11.8%	2.7%	100.0%
計	患者数	503	1,465	6,359	14,466	21,723	25,487	14,291	2,757	87,051
	%	0.6%	1.7%	7.3%	16.6%	25.0%	29.3%	16.4%	3.2%	100.0%

### がん患者 県別分布数 (昭和39年12月～平成26年12月)



## レジデント履修状況

区分	総数	消化器内科コース	呼吸器内科コース	腫瘍内科・血液内科コース	頭頸部外科コース	呼吸器外科・乳腺科コース	消化器外科コース	婦人科・泌尿器整形科・形成外科コース	放射線診断コース	放射線治療コース	遺伝子病理診断コース	麻酔科コース
61~24年度	984	90	53	45	91	131	122	49	83	293	25	2
25年度	50	6	2	10	8	10	6	2	2	2	2	0
26年度	53	7	3	8	6	10	6	4	2	5	2	0
27年度	48	9	2	9	3	6	5	3	4	4	3	0
総数	1,135	112	60	72	108	157	139	58	91	304	32	2

(注)呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

## リサーチレジデント履修状況

区分	総数	疫学・予防学コース	腫瘍病理学コース	分子腫瘍学コース	遺伝子医療研究コース	腫瘍免疫学コース	分子病態学コース	感染腫瘍学コース	腫瘍医化学コース	臨床研究基礎コース
13~24年度	105	9	12	9	12	13	9	17	17	7
25年度	16	2	1	4	2	2	1	1	3	0
26年度	16	2	2	4	1	2	2	0	3	0
27年度	12	2	0	2	2	2	1	0	3	0
総数	149	15	15	19	17	19	13	18	26	7

(注) 感染腫瘍学コースは、平成25年度までは腫瘍ウイルス学コース  
腫瘍医化学コースは、平成25年度までは発がん制御研究コース

## 医療技術者研修受入れ状況

区分	総数	41~22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総数	5,515	5,146	65	81	77	74	72
医師	3,476	3,253	42	51	53	51	26
診療放射線技師	226	223	1	0	1	1	0
臨床(衛生)検査技師	589	565	3	7	4	3	7
看護師	317	291	3	4	2	2	15
その他	907	814	16	19	17	17	24

## 図書蔵書状況 (受入数-除籍数=総数)

年度	種類	総数	単行本		専門雑誌	
			洋	和	洋	和
S40~H24年度受入		69,447	11,787	18,031	28,342	11,287
H25年度受入		1,114	78	741	11	284
H26年度受入		1,058	30	742	38	248
H27年度受入		980	41	643	9	287
除籍累計		13,152	3,246	3,824	4,749	1,333
総数		59,447	8,690	16,333	23,651	10,773

# 主な備品・設備

備 品 (平成28年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
X線TV装置	平成3年度	DBW-220A型 東芝	1	放射線診断・IVR部
放射線モニタリングシステム	平成3年度	MSR-500 アロカ	1	放射線診断・IVR部
多方向X線撮影装置	※平成3年度	VS-20 島津	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Singa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
モニター読影入力システム	平成22年度	放射線読影レポートシステム F-Report 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infina3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/Rapideyecore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infenix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
医療用リニアック	※平成15年度	CLINAC-21EX バリアン	1	放射線治療部
医療用リニアックセラレータ	平成17年度	Hi-ARTシステム・Tomo Therapy	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 島津	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	平成23年度	MOSAIC OIS エレクタ	1	放射線治療部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB-TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
自動カート洗浄装置	※平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
カルテ保管庫	※平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
医局システム機	※平成3年度	特型 ソニー	1	医局
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	腫瘍医化学部
動物飼育設備	平成11年度	ダイダ	1	中央実験室
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	中央実験室
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	中央実験室
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	中央実験室
質量分析システム	平成22年度	4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer エービー・サイエックス	1	研究所
中央実験台等	※平成11年度	イトーキ	1	共通実験室

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成28年4月1日現在)

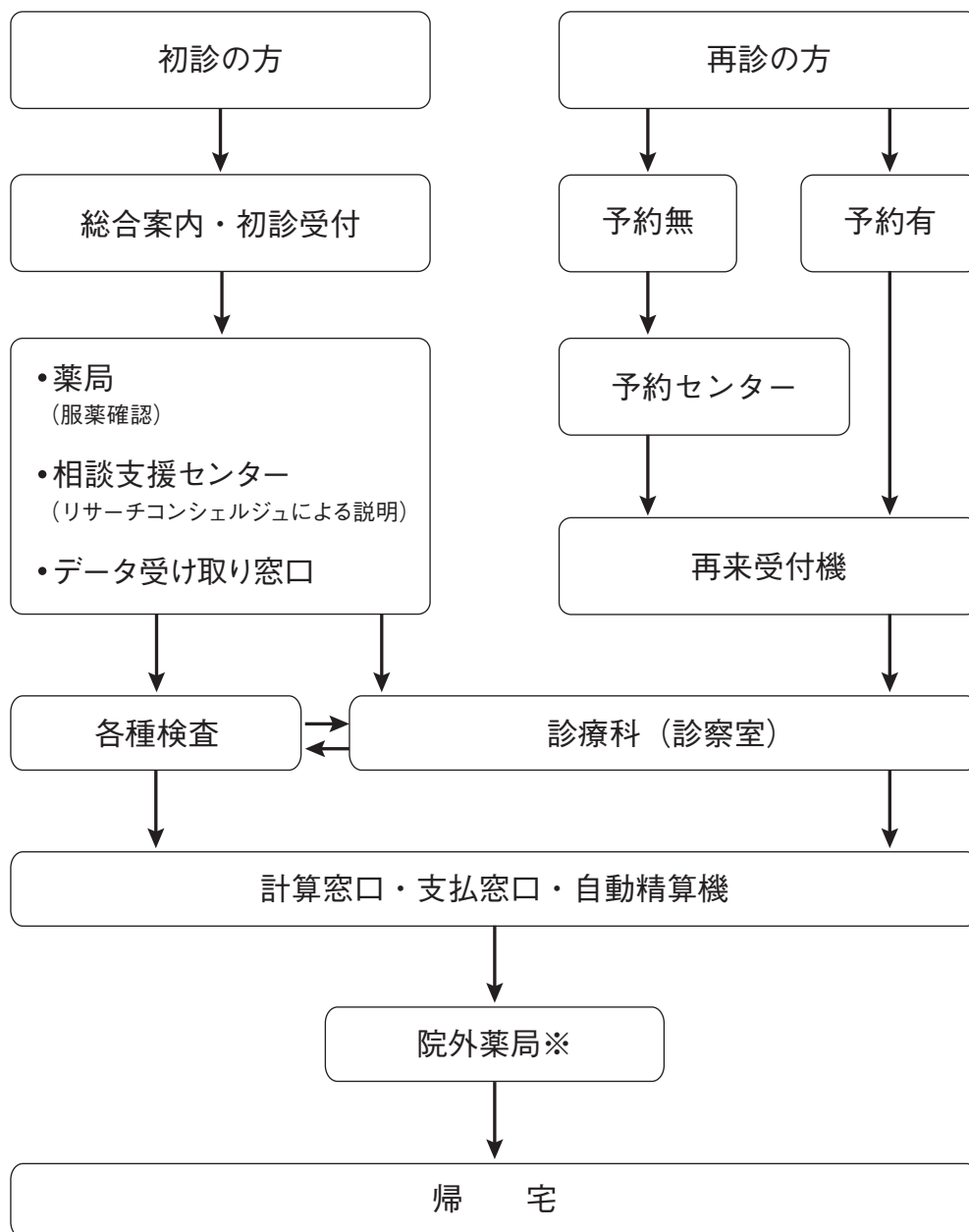
設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電 気 設 備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	4		高压配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非常用発電機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	118		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

# 病院業務 (平成28年4月1日現在)

**診療科目** 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計 23 診療科

**病床数** 500床

## 外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方



## 外来患者状況

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
診 療 日 数	244	245	244	244	243
新 来 患 者 数	5,481	5,548	5,468	5,279	5,240
患 者 延 数	149,626	150,654	154,951	141,149	138,798
1 日 平 均 患 者 数	613.2	614.9	635.0	578.5	571.2
平 均 通 院 回 数	27.3	27.2	28.3	26.7	26.5
紹 介 患 者 比 率	84.2	87.1	90.6	93.7	95.4
外 来 化 学 療 法 件 数	20,817	21,011	21,762	19,820	20,120

## 入院患者状況

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
患 者 総 数	総 数	9,854	9,800	9,627	9,508	10,143
	繰 越	336	325	344	327	368
	新入院	9,518	9,475	9,283	9,181	9,775
退 院 患 者 数	総 数	9,609	9,456	9,300	9,140	9,789
	死 亡	468	395	434	372	370
	その他	9,141	9,061	8,866	8,768	9,419
患 者 延 数		150,036	149,650	144,191	135,983	141,559
1 日 平 均 患 者 数		409.9	410.0	395.0	372.6	386.8
平 均 在 院 日 数		14.7	14.8	14.5	13.9	13.5
病 床 利 用 率		86.7	86.7	83.5	78.8	81.8
病 床 回 転 率		23.3	23.1	23.5	24.6	25.3
死 亡 率		4.9	4.2	4.7	4.1	3.8

## 住所地別患者数

区 分	住 所 地	24年度		25年度		26年度		27年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	4,205	75.8%	3,978	72.8%	3,833	72.6%	3,875	74.0%
	名古屋市	2,125	38.3%	1,896	34.7%	1,812	34.3%	1,932	36.9%
	その他	2,080	37.5%	2,082	38.1%	2,021	38.3%	1,943	37.1%
	県 外	1,343	24.2%	1,490	27.2%	1,446	27.4%	1,365	26.0%
	総 数	5,548	100.0%	5,468	100.0%	5,279	100.0%	5,240	100.0%
新 患 者 入 院 数	愛 知 県	6,735	71.1%	6,749	72.7%	6,770	73.7%	7,102	72.7%
	名古屋市	3,358	35.4%	3,112	33.5%	3,211	35.0%	3,264	33.4%
	その他	3,377	35.7%	3,637	39.2%	3,559	38.7%	3,838	39.3%
	県 外	2,740	28.9%	2,534	27.3%	2,411	26.3%	2,673	27.3%
	総 数	9,475	100.0%	9,283	100.0%	9,181	100.0%	9,775	100.0%

## 患者給食実施状況

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入院患者延数		150,036	149,650	144,191	135,983	141,559
給食数 (配膳延人数)	総数	116,994	125,746	111,116	106,238	111,040
	一般食	93,428	89,836	84,038	77,186	82,564
	特別食	23,566	35,910	27,078	29,052	28,476
給食率		78.0	84.0	77.1	78.1	78.4

## 放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総数		44,232	44,832	44,858	46,564	47,533
単純撮影		38,309	38,776	38,906	40,524	41,545
造影撮影		4,787	4,844	4,515	4,528	4,423
特殊撮影		1,136	1,212	1,437	1,512	1,565

## アイトープ検査件数

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総数		1,052	1,060	958	845	876
センチスキャン		721	714	630	507	576
センチネルリンパ		327	337	326	333	296
動態計測		4	9	2	5	4

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

## コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総件数		15,294	16,020	17,060	17,588	18,350

## 超音波断層撮影件数

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総数		3,621	3,337	3,499	3,517	3,990
部位別	甲状腺	659	311	293	267	250
	乳腺	682	619	681	667	832
	腹部	1,886	2,141	2,140	2,133	2,350
	その他	394	266	385	450	558

(注) 放射線診断部・IVR部 超音波検査室における超音波検査件数。

診察室における超音波検査件数は各診療科検査実績参照。

(平成21年度までは全て超音波検査室で実施)

## MRI件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	3,610	3,887	3,946	3,872	4,000

## 放射線照射回数（治療）

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
総 数	57,324	55,448	54,362	51,702	49,109	
放射線治療計画策定件数	1,402	1,240	1,496	1,476	1,438	
放射性物質	R A L S	58	52	51	49	58
	小 線 源	26	20	12	17	9
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	54,732	53,093	51,685	49,032	46,481
	C T	902	960	1,043	1,083	1,091
	シミュレーター	204	83	75	45	32

## 一般臨床検査件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
総 数	2,831,987	2,952,465	3,082,084	3,047,702	3,082,403	
尿 検 査	27,213	27,237	27,194	26,452	28,808	
糞 便 検 査	641	584	532	426	354	
血液学的検査	897,307	927,277	967,033	949,938	954,917	
生化学的検査	1,484,230	1,561,538	1,636,016	1,612,858	1,632,613	
細菌学的検査 （監視培養検査）	16,784 (1,008)	20,066 (996)	21,429 (1,563)	23,213 (1,563)	21,140 (1,674)	
血清学的検査 （アイソトープ使用検査）	203,495 ※(733)	212,646 0	220,594 0	223,968 0	230,735 0	
病理組織検査	8,484	8,549	8,695	8,629	8,954	
癌遺伝子検査	1,878	1,986	2,191	2,223	2,250	
細胞学的検査	7,267	7,117	7,329	7,347	7,227	
血液ガス検査	4,066	4,261	4,141	4,374	4,743	
その他	採血業務	177,366	178,132	185,224	185,991	188,279
	治験処理等	3,256	3,072	1,706	2,283	2,383

(注)( ) 内は再掲。

※平成23年9月よりRI検査中止→外注委託

## 機能検査件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	17,734	18,434	19,306	20,911	23,517
心 電 図 検 査	4,377	4,700	4,689	5,065	6,698
負 荷 心 電 図 検 査	1,876	1,927	2,026	2,038	2,073
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	839	807	811	843	921
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	412	267	247	273	216
心 臓 超 音 波 検 査	2,446	2,721	2,652	2,789	2,971
肺 機 能 検 査	6,868	7,139	7,913	8,944	9,560
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	89	67	123	162	133
聴 力 検 査	162	177	144	116	120
乳 腺 超 音 波 検 査	665	629	701	681	825
骨 塩 定 量 検 査	0	0	0	0	0
そ の 他 検 査	0	0	0	0	0

(注) その他の検査はバクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

## 部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	25年度			26年度			27年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	2,994,636	2,971,697	22,939	3,004,397	2,979,734	24,663	3,041,749	2,993,229	48,520
一般検査	113,318	113,290	28	109,375	109,365	10	119,645	119,579	66
血液検査	656,885	656,047	838	643,948	643,270	678	647,445	646,231	1,214
免疫血清検査	113,229	108,289	4,940	154,295	147,434	6,861	145,532	138,110	7,422
生化学検査	1,761,900	1,746,161	15,739	1,737,074	1,721,842	15,232	1,766,377	1,748,133	18,244
微生物検査	43,783	42,512	1,271	47,507	45,787	1,720	43,035	41,254	1,781
病理細胞診検査	98,812	98,812	0	100,420	100,420	0	104,831	104,831	0
生理検査	19,306	19,183	123	22,949	22,787	162	23,517	3,724	19,793
その他の検査	187,403	187,403	0	188,829	188,829	0	191,367	191,367	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

(注) 病理細胞診検査については、①②の理由により減少しました。

①写真撮影のデジタル化により、前年度以前との正確な比較が不能となったため、写真撮影枚数を加えなくなった。

②新システム導入により、手術件数の積算方法が変わった。

## 内視鏡検査件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	8,835	8,986	10,202	9,878	10,281
上 部 消 化 管	4,995	5,034	5,833	5,566	5,797
下 部 消 化 管	2,246	2,191	2,632	2,617	2,684
気 管 支	177	162	214	210	156
膵胆管造影(ERCP)	407	497	475	476	491
超音波内視鏡(EUS)	694	759	684	669	766
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	316	343	364	340	387



## 内視鏡治療件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	978	1,038	1,086	956	1,009
食 道 E M R	25	17	12	17	8
胃 E M R	0	2	1	4	3
大腸EMR、ポリペク	299	296	250	289	300
食 道 E S D	23	34	62	59	52
胃 E S D	90	101	85	81	84
大 腸 E S D	30	49	62	57	56
食道狭窄拡張術	285	250	251	148	213
胆道ステント留置術	139	153	245	163	179
乳頭切開術、胆道碎石術	87	136	118	138	114

## 手術件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	2,720	2,750	2,792	2,805	3,002
頭 頸 部 外 科	517	506	527	510	526
呼 吸 器 外 科	277	275	309	350	403
乳 腺 科	441	477	497	484	459
消 化 器 外 科	793	803	805	767	820
婦 人 科	273	320	283	271	260
泌 尿 器 科	165	163	164	169	168
整 形 外 科	146	122	116	141	237
形 成 外 科	88	68	75	107	115
そ の 他	20	16	16	6	14

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。  
 ※平成23年度から呼吸器外科の〈食道〉については消化器外科に含む。

## 主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	25年度	26年度	27年度	部 位	25年度	26年度	27年度
頭 頸 部 が ん	422	433	394	子 宮 頸 が ん	122	124	50
食 道 が ん	80	81	79	(円錐切除)			60
肺 が ん	220	247	283	子 宮 体 が ん	46	51	61
乳 が ん	482	431	440	卵 巢 が ん	39	37	40
胃 が ん	231	221	223	前 立 腺 が ん	28	20	29
大 腸 が ん	332	303	319	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	30	26	63
肝 ・ 胆 が ん	62	74	65	I V R	1,757	1,672	1,682
膵 臓 が ん	63	67	76	造 血 幹 細 胞 同 種	1	2	0
				移 植 自 家	4	9	8

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。  
 ※27年度より、子宮頸がんの表記を変更した。

## 薬剤業務状況

区 分			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
			総数	総数	総数	総数	総数
処	枚 数	総 数	76,266	79,640	79,780	76,590	78,765
		外 来	9,358	9,113	7,119	7,004	7,000
		入 院	66,908	70,527	72,661	69,586	71,765
方	剤 数	総 数	140,961	149,509	151,409	149,053	156,003
		外 来	21,893	22,914	22,380	23,907	23,660
		入 院	119,068	126,595	129,029	125,146	132,343
	延 剤 数	総 数	1,134,997	1,202,562	1,234,068	1,232,441	1,284,571
		外 来	343,264	365,789	358,720	396,171	403,050
		入 院	791,733	836,773	875,348	836,270	881,521
治 験 処 方 枚 数		総 数	846	733	1,208	1,073	1,074
		外 来	810	710	1,080	952	982
		入 院	36	23	128	121	92
注	枚 数 (患者人数)	総 数	106,864	109,355	104,775	97,619	97,348
		外 来	24,094	25,602	26,265	25,593	25,777
		入 院	82,770	83,753	78,510	72,026	71,571
射	剤 数	総 数	502,783	519,482	469,546	419,369	407,913
		外 来	70,652	77,389	78,584	77,368	80,091
		入 院	432,131	442,093	390,962	342,001	327,822
薬 剤 管 理 指 導 数		人 数	2,805	4,535	6,134	6,392	6,604
		算 定 件 数	3,142	5,574	7,762	8,257	8,397
* 1 外 来 抗 がん 剤 調 製 数	件数(患者数)	15,510	16,632	16,865	15,446	15,782	
	剤 数	24,058	25,722	26,121	26,846	26,419	
* 2 外 来 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験)	件数(患者数)	1,220	1,112	1,510	975	996	
	剤 数	1,695	1,581	1,971	1,276	1,199	
* 3 入 院 抗 がん 剤 調 製 数 (治 験 を 含 む)	件数(患者数)	9,189	9,355	8,187	8,258	8,893	
	剤 数	12,536	12,477	10,896	11,593	12,697	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		7,590	8,405	8,495	7,846	8,032	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		19,086	18,901	18,392	18,534	19,416	
T D M 実 施 件 数		89	110	183	163	142	

\* 1 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

\* 2 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(\*1の外数)

\* 3 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上

## 院外処方せん交付状況(平成27年度)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方せん総枚数	4,958	4,239	4,663	4,841	4,299	4,559	4,791	4,540	4,716	4,533	4,615	4,989	55,743
院内処方せん枚数(外来)	632	554	602	597	529	616	600	613	597	547	528	585	7,000
院外処方せん枚数	4,326	3,685	4,061	4,244	3,770	3,943	4,191	3,927	4,119	3,986	4,087	4,404	48,743
比 率 (院外処方せん枚数 / 処方せん総枚数) %	87.3%	86.9%	87.1%	87.7%	87.7%	86.5%	87.5%	86.5%	87.3%	87.9%	88.6%	88.3%	87.4%

平成9年12月2日からオーダーリングシステムによる院外処方せんの交付を開始し、平成10年8月から原則的に全面交付

## 血液使用状況

### 1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
自 己 血 液	288	312	417	434	216
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 製 剤	58	24	34	34	0
赤 血 球 濃 厚 液	5,590	5,032	4,346	4,520	4,332
凍 結 血 漿	1,259	1,324	703	940	902
血 小 板	13,100	14,090	9,650	10,505	8,315
そ の 他	0	0	0	0	0

### 2. 検査件数

(単位：件)

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ク ロ ス マ ッ チ	3,299	2,938	2,632	2,722	2,488
血 液 型 ( A B O )	3,656	3,692	6,691	6,982	7,155
R H 因 子	3,656	3,692	6,691	6,982	7,155
間 接 ク ー ム ス 試 験	9,576	9,124	2,879	3,051	3,144
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,259	6,162	6,073	6,332	6,518
直 接 ク ー ム ス 試 験	19	23	34	20	23

(注) ・全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

・直接クーモス試験は平成9年度より、臨床検査部から輸血部へ移管。

・血液型(ABO)、RH因子、間接クーモス試験については平成25年度より集計方法を変更した。

## 治験等実施件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
治 験	117	120	135	146	149
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	13	11	8	9	9
製 販 後 使 用 成 績 調 査	31	28	24	37	51
そ の 他	2	3	2	2	0
合 計	163	162	169	194	209
( 新 規 依 頼 分 )	(44)	(39)	(58)	(61)	(59)
医 師 主 導 治 験	5	7	7	7	5

## 臨床試験実施件数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登 録 中 の 臨 床 試 験	53	59	74	82	99
う ち 先 進 医 療 B に 基 づ く も の	0	3	3	3	5
追 跡 調 査 中 の 臨 床 試 験	51	47	63	69	(※)48

(※) 平成26年度までは登録中の臨床試験において追跡調査があるものも含めたが、平成27年度の数値は登録終了後の臨床試験において追跡調査のみを行っている数値とした。なお、登録中臨床試験で追跡調査がある試験を含めると125件である。

## 死体解剖数

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
死 亡 患 者 数	470	395	434	372	370
解 剖 数	18	6	6	2	5
解 剖 率	3.8	1.5	1.4	0.5	1.4

# 研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も設置目的に含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎医学的研究と相まって、当センターの機能を発揮しているが、その研究態勢は、

- (1) 研究所における部別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4態勢で実施されている。平成28年度における研究課題は、次のとおりである。

## 研究所における部別研究課題

- |          |  |
|----------|--|
| 疫学・予防部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 がん対策の企画・評価に必要な地域がん登録の資料を活用した、がんの流行と転帰の分析研究</li><li>2 がんの環境要因、宿主要因、および両者の交互作用を解明するための病院疫学研究</li><li>3 「健康日本21 あいち」に基づく愛知県民のためのがん予防啓発技術の開発研究</li><li>4 がん治療の長期予後(効果)に影響する要因の分析</li></ol> |
| 腫瘍病理学部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 難治がんの分子病理学的特徴解析の研究</li></ol>   |
| 分子腫瘍学部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 肺がんの発症・進展機序の解明と分子標的療法の探索</li><li>2 中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究</li></ol>   |
| 遺伝子医療研究部 | <ol style="list-style-type: none"><li>1 がん罹患リスク・予後を決める遺伝子と環境要因の組合せの解明、並びに予防・医療への応用。</li><li>2 造血器細胞の分化、増殖に関与する遺伝子の血清学的、分子生物学的研究</li></ol>  |
| 腫瘍免疫学部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索</li><li>2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究</li></ol>  |
| 感染腫瘍学部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用</li><li>2 炎症・感染によるがん進展メカニズムの解明</li></ol>  |
| 分子病態学部   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明</li><li>2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索</li><li>3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築</li></ol>  |



- |        |  |
|--------|--|
| 腫瘍医化学部 | 1 がん細胞周期における新規キナーゼカスケイド<br>2 新しい中心体及び細胞間接着制御因子群の機能解析 |
| 中央実験室  | 1 食道がん、頭頸部腫瘍の分子遺伝学的研究                                |

### 病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

### 病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 悪性中皮腫の原因遺伝子の同定と臨床応用
- 2 頭頸部癌症例対照
- 3 遺伝子多型を含めた乳がんリスク予測モデリング
- 4 すい臓がんに関与する高親和性抗体の樹立
- 5 上咽頭がん組織に感染した EB ウイルスゲノムの解析
- 6 大腸がん転移抑制遺伝子の同定およびその機能解析

### プロジェクト研究課題

- 1 ganp遺伝子多型の非遺伝散発性乳癌発症及び悪性進展への寄与の検討
- 2 大腸がん転移抑制遺伝子の同定およびその機能解析
- 3 HER2陽性胃癌患者のリキッドバイオプシーによるトラスツマブ耐性機序の解明とその克服法の探索
- 4 悪性リンパ腫の治療効果・予後に関与する遺伝子変異の探索

## 特許の状況

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
発 明 件 数		6	2	5	5	5
出 願 件 数		7	3	5	3	4
登 録 件 数	年 度 当 初	15	18	27	32	25
	新 規	4	9	5	4	5
	権 利 消 滅	1	0	0	11	1
	年 度 末	18	27	32	25	29
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	6	4	4	5	5
	新 規	0	0	1	0	0
	満 了 ・ 解 約	2	0	0	0	0
	年 度 末	4	4	5	5	5

(注) 出願件数には外国出願、国際(PCT)出願を含む。

## 研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

23年	24年	25年	26年	27年
99	109	82	71	100

# 類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	千葉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	
	がんセンター中央病院		がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター(独立行政法人)	がんセンター(独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	S47.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	
病 床 数	500	3	503	341	589	400	383	415	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	74.5	6	66.3	78.4	84.6	80.2	75.6	83.0
	平均在院日数 (日)	13.9	4	13.9	12.1	11.5	14.4	19.3	12.7
	1日平均外来患者数 (人)	578	5	784	485	1,098	615	338	882
※ 収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入 (円)	57,230	6	61,278	63,202	65,595	59,675	51,331	67,354
	外来患者1人1日当たり診療収入 (円)	37,346	1	27,503	31,600	32,897	35,585	29,003	23,460
※ 繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額 (千円)	4,794	2	5,988	7,629	10,550	2,380	5,835	5,949
	一般会計繰入金対経常収益 (%)	13.9	2	17.6	18.5	21.4	6.7	21.6	14.7
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	100.1	4	90.8	102.0	98.6	102.7	103.9	96.0
	医業収支比率 (%)	90.2	4	76.2	85.9	81.9	95.8	104.4	96.9
	修正医業収支比率 (%)	84.0	2	76.0	82.7	81.5	95.8	82.6	83.7
	職員給与費対医業収益 (%)	44.1	3	54.0	56.7	40.5	47.2	44.9	37.6
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△11,846	5	△13,251	△6,757	△11,925	△1,482	△4,796	△9,103
	病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円)	△7,052	6	△7,263	872	△1,375	898	1,039	△3,154
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円)	△ 3,951	7	△2,211	3,088	4,005	2,886	3,414	1,313

注1 数値は「平成26年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

## 外来診療案内

(平成28年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日	
消化器内科	消化器疾患	月～金	
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金	
循環器科	循環器疾患	月・木	
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金	
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金	
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金	
形成外科	形態治療・機能再建	月～金	
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	火・水・木・金	
乳腺外科	乳腺疾患	月～金	
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金	
整形外科	整形外科疾患	月・火・水・金	
脳神経外科	脳神経疾患	火・水・木・金	
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金	
婦人科	婦人科疾患	月～金	
皮膚科	皮膚疾患	火・水・木・金	
眼科	眼科疾患	金	
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月・水・木・金	
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金	
緩和ケア科	精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金
	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療	水
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療	火・木

- ※1 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)
- ※2 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。

## 入院案内

(平成28年4月1日現在)

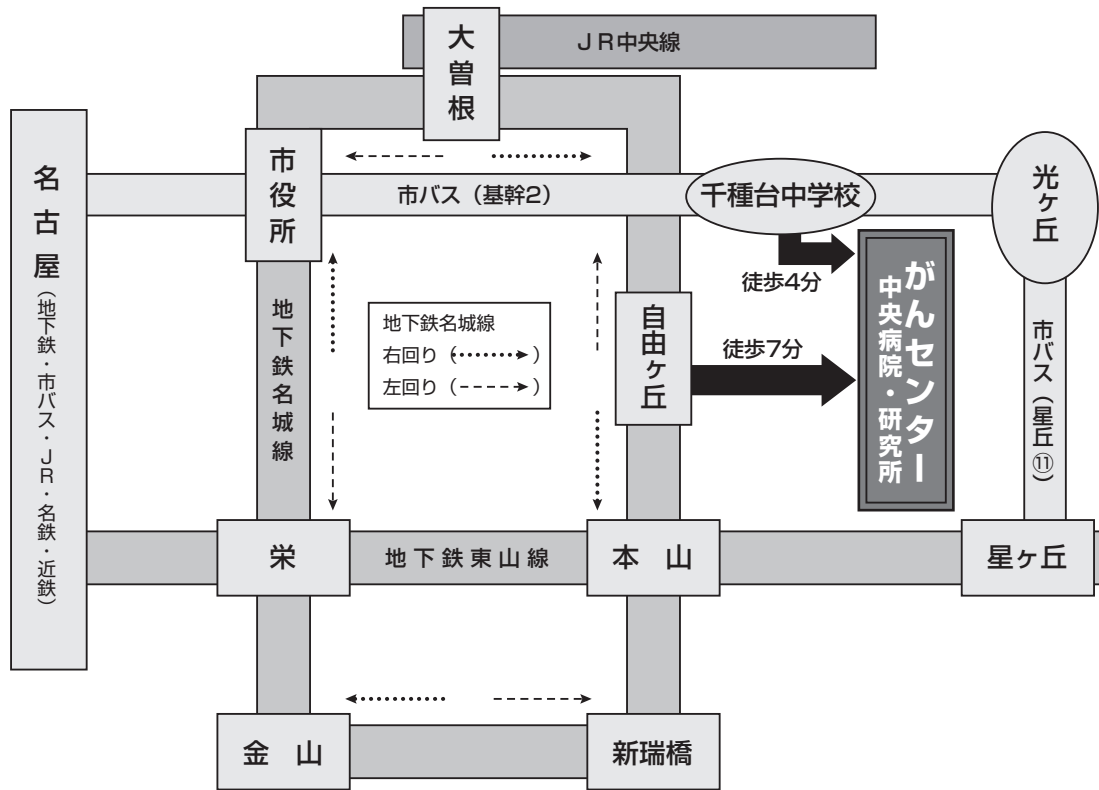
- ◆ 入院の申込み
  - 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
  - 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
  - 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。  
なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区分	A室	B室	C室	D室
室料(1日につき)	27,770円	13,370円	9,250円	7,200円

- ◆ 面会
  - 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。  
月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで  
土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
  - 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
    - (1) 面会のときは、看護師に申し出てください。
    - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないよう中央デールーム(面会室)をご利用ください。
    - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
    - (4) 構内は禁煙になっています。
    - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんに迷惑のかからないようお願いします。



# 交通案内



## 地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約 30 分】  
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約 20 分】  
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約 35 分】  
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

## 市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約 40 分】  
基幹 2 系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約 20 分】  
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

## 自家用車利用 本山交差点から北へ5分，平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋 IC」から西へ約 15 分  
名古屋 IC より、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ 2,600m 進み、「打越」交差点を右折、1,600m 先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m 先の「希望ヶ丘 4」交差点を左折、300m 先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約 10 分  
四谷出口より 800m 先の「四谷通 3」交差点を左折、北へ 1,500m 進み「猫洞通 2」交差点を左折、1,300m 先の「自由ヶ丘 3」交差点を右折、400m 先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター中央病院・研究所概要  
平成28年度

平成 28 年 5 月 発行

発行所 愛知県がんセンター

名古屋市千種区鹿子殿 1 番 1 号

電話 052-762-6111 (〒464-8681)

Home Page: <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印 刷 相羽印刷株式会社

名古屋市守山区瀬古 1 丁目 2 4 1 番地 (〒463-0068)

電話 052-795-5122 FAX 052-795-5123



愛知県がんセンター  
Aichi Cancer Center